



せいひ会だより

2024年(令和6年)
6月1日発行
<第300号>
社会福祉法人せいひ会
<http://www.seihikai.jp/>



元亀の里ではデイルームにピアノを設置し、誰でも自由に演奏する事が出来る様にしています。現在は重本葉子様が毎日の習慣として演奏されており、時には周りに人が集まって手拍子や歌を口ずさむ光景が見られます。重本葉子様は以前保育園の先生をされており、音楽の先生が学校にいなかった時代には学校に出向き子供たちに向けてピアノを弾かれていたそうです。現在でも手が覚えている曲をその日の気分で演奏できる事が毎日の楽しみになっていると話されていました。



5月5日、風和の里では、ほぼ恒例になっている魚釣りゲームで端午の節句をお祝いしました。「さあ、今日の晩御飯ば釣らんば！」とノリがいい入居者様方。最後は皆で記念撮影。

「はい、チーズ！」



5月6日、グループホームの畑のそら豆を収穫しました。ぷっくり育ったそら豆を皮から取り出しながら、「豆ごはんば、炊こうか。」と、ウキウキで献立を考える入居者。リクエスト通り、美味しい豆ごはんをいただきました。



端午の節句。各事業所では、菖蒲の葉を浴槽に浮かべ、菖蒲湯を楽しみました。通所介護利用者の中には初めて入るといふ方は、菖蒲の匂いにとりまわっている様子。「風呂から上がった後もぼかぼかする」と菖蒲効果抜群の様です。

随 ずっとらばし

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。今月は寿限無の丸山太郎さんです。

私にはいま小学3年生の娘がいます。歩き始めた歳の頃は割と歩くのが好きなように見えていましたが、幼稚園に通い始めた頃からはお出かけの度に少し歩くとすぐに「つかれた、だっこして」と親を困らせていました。小学校に上がっても外出に関しては「暑い、疲れる」などと消極的で「こんな調子で丈夫な子に育つのだろうか？」と心配になるほどでした。そんな娘ですが今年から「バスケットがしたい」と、地域のバスケットクラブに通い始めました。これまでの娘を知っている

がゆえに「体力的に無理なんじゃないか？」とか「すぐあきらめてしまうだろう」と不安がよぎりはしましたが「せっかくやりたいと本人が言っているのだからたとえ続かなくてもやらせてあげよう」との思いに至りました。今では練習の後には「こんなことしたよ」と嬉しそうに笑顔で話してくれます。介護の現場でも私たちが過剰に心配して「利用者様のやりたいことを奪わないようにしましょう」と思う出来事でした。



5月の第2日曜日は「母の日」。誰もが知っている行事ですが、母の日を祝う習慣はどのようにして生まれたかご存じでしたか？通所介護では、その起源について話をし、母との思い出を語ったそうです。他の事業所でも、手作りのカーネーションやカードを配りました。ある入所者は、「私は『母』ではないけれど、弟達から毎年、素敵な贈り物を届けてくれるのを楽しみにしているのよ。」と、きっと、母親代わりに一生懸命下の弟さんたちのお世話をされていたのでしょうか。これもまた素敵な『母』のお話だと思います。

5月の行事

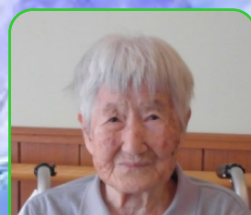
- 3～5日 端午の節句/菖蒲湯(各事業所)
- 11日 母の日 (各事業所)
- 27日～ お楽しみ会 (風和)

6月の行事予定

- 5日 誕生会(通介)
- 15日 父の日(各事業所)

せいひ会だより第300号

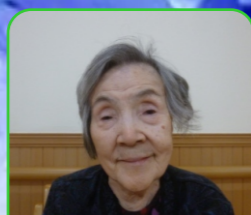




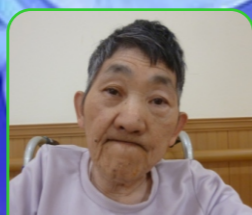
風和の里
朝末カヨ様



通所介護
中村加代子様



寿限無
酒井多慶子様



寿限無
福田恵美子様



寿限無
廣瀬安夫様



元亀の里
岳下弘子様



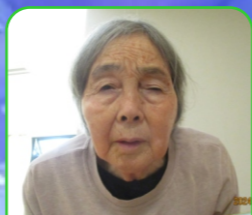
元亀の里
津本静江様



元亀の里
小林貞子様



元亀の里
笠山千代子様



グループホーム
津口キヨ子様

お誕生日おめでとう



風和の里
浅井クミ子様

インタビュー

昭和10年5月18日生まれ、89歳。西彼杵郡江島村（西海市崎戸町江島）で生まれ、4人姉弟の2番目として健やかに育ちました。小、中学校までは地元 학교に通い、高校からは家を出て佐世保に住んでいる伯母の家の下宿。佐世保女子高等学校へ入学しました。入学当初は佐世保の言葉に慣れず、あまり話をしなかったそうです。「伯母に江島言葉を使うようになって言われて。」と話されました。「昔は裁縫学校っていう名前前で在学中に今の名前に変わったと。」と当時の事を思い出しながら、「裁縫の授業があって子供の着物を作ったりしよった。だんだん大人の着物を作るようになって、反物は高いから母ちゃんの着物をほどいてアイロンをかけて作り直しよった。」と話されていました。ちなみに当時の高校の月謝は800円だったそうです。高校卒業後は小倉の食堂に住み込みで働き、1か月の給料は4000円。必死にお金をためて、親に10万送ったそうです。話の途中に『♪君の名はと…尋ねし人あり〜♪』と歌い始め、「この歌好きやったあ。毎週木曜日の7時半からテレビでありよって隣の家に観に行きよった。映画になって観にも行ったよ。350円もしたとよ。」と陽気に話されていました。まだまだ話足りない様子の浅井様でした。



5月のお楽しみ献立

- ・中華おこわ
- ・タイの梅みそ焼き
- ・高野煮
- ・オレンジ
- ・茶碗蒸し
- ・おやつ：柏餅



母の日献立

- ・押し寿司
- ・にごみ
- ・パイン
- ・すまし汁



通所介護



寿限無 2階利用者



風和の里 北ユニット



笠山千代子様



寿限無 ショートステイ



寿限無 ショートステイ



通所リハビリ



岳下弘子様

LIFE is a work of ART
今月の作品紹介です。

職員紹介



川島さゆり

2023年より元亀の里で介護職員として働いています。元亀の里で働くまで5年のブランクがあり不安でしたが、他のスタッフの皆さんに良くして頂き不安もどこかに行ってしまいました。また、日々の介護の中で利用者様のありがたい言葉や笑顔に触れ、やりがいを感じる毎日を送ることができています。これからも利用者様に尊敬や感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思ひます。